

NKE

腰サポーターを発売

人工筋肉で腰を支える

人工筋肉に被せる繊維には、地元京都の伝統技術である組紐の技術を採用。収縮してもずれにくく、丈夫に仕上げた。

NKE「中村道一社
長、京都市伏見区羽束師
菱川町366-1」が、
高性能の人工筋肉を使っ

た腰サポーターの販売を
始めた。重い物を持ち上
げる時や長時間の立ち仕
事などの際に「筋肉の代

わり」となって腰にかか
る負担を軽減。中腰作業
の多い農業分野での活用
も見込む。

開発したのは「腰助(よ

サポーターと異なり、同
製品は背中側に人工筋肉
を搭載することで、圧力
を腰に集中。お腹への圧
迫感を軽減した。

うすけ)くん」。布の張
力で固定し、お腹まで圧
迫してしまう一般的な腰

サポーターを腰に装着
後、付属の手動ポンプで
空気を挿入すると、空気

は1万9800円(税別)。
コンベアを中心とする
搬送機器メーカーとし
て、工場作業者の負担軽

減を目指す中で生まれた
商品。いずれは膝部分や
全身までサポーターする製
品も開発し、介護や医療、
スポーツ分野にも販路を
広げたいとしている。



腰サポーター「腰助くん」